IPカメラ

WTW-IPW1041 説明書

目次

1. スペック	2
2. 外観	
3. 準備、インストール、カメラ登録	4
3-1. 準備	4
3-2. スマートフォンにソフトをインストールする	5
3-3. カメラ登録	6
4. 映像を見る、設定、赤外線人感センサー	
4-1.映像を見る	
4-2. 設定	
4-3. 赤外線人感センサー	

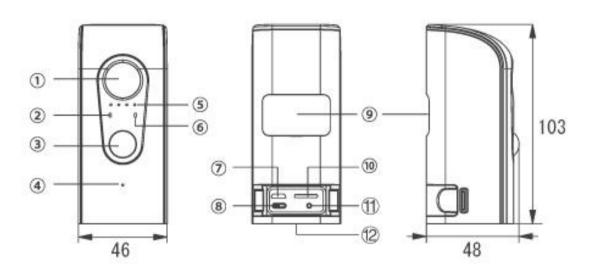
1. スペック

スペック

型番	WTW-IPW1041
レンズ	2.1mm/110°
映像圧縮方式	H.264
音声	单方向通話
WiFi	IEE802.11b/g/n (2.4GHz)
赤外線暗視	5m
センサー	PIR
動体検知	検知後30秒間録画、その後検知が
	ない場合スリープモードに入る
充電方法	5V マイクロUSBケーブル
サイズ	$48 \times 46 \times 103$ mm
対応ストレージ	MicroSDカード
重量	180g
バッテリー	3400mAh
	1日10回程度の動体検知があった
	場合、約60日間動作可能
使用条件	-10°C∼50°C

2. 外観

本体



(寸法:mm)

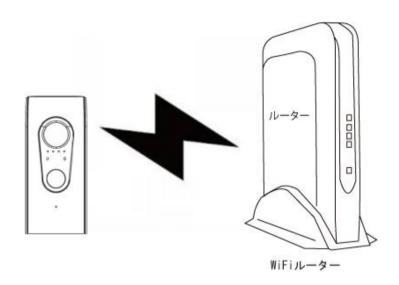
① レンズ	⑦ 充電用USBソケット
② 充電ランプ	⑧ 電源スイッチ
 3 人感センサー (PIR) 	⑨ 磁気パネル取付部
④ マイク	⑩ MicroSDカードスロット
5 赤外線LED	① WiFiリセットボタン
⑥ WiFiランプ	① ブラケット取付部

※ microUSB端子を利用して充電する 付属のmicroUSBのケーブルを利用して充電してください

バッテリー容量が無くなり起動しない場合は microUSB端子を利用して充電してください バッテリー容量が無い状態から約6時間でフル充電状態になります

3. 準備、インストール、カメラ登録

3-1. 準備



本製品は WiFi接続可能なルーターとそのルーターにWiFi接続されたスマートフォンが必要です カメラを設定する時には WiFiルーターのSSIDとパスワードが必要になりますので確認してください 本製品は2.4GHz(WPA, WPA2)を使用します 5GHzのWiFiは使用できません

※カメラの登録設定をする時 スマートフォンによってwifi環境が不安定もしくはインターネットに接続されていない場合は 接続を維持しない場合があります

このような場合は スマートフォンの設定で「機内モード」にしていただきカメラの登録設定が 完了したら「機内モード」を解除してください

3-2. スマートフォンにソフトをインストールする

アプリ名 「DoBy」 iPhoneの場合は APP Store androidの場合は Play Store

上記のStoreよりアプリをインストールしてください

インストールが完了したら「Doby」アイコンを タップしアプリを起動してください









右のQRコードをスマートフォンで読み取り、 アプリをダウンロードしてインストールするこ ともできます。

アプリを起動して「ユーザー登録」をタップし、新規アカウント番号を登録して 画面の案内にしたがって操作してください。すでにアカウントをお持ちの場合は、 直接「ログイン」をタップしてください。





3-3. カメラ登録

アカウント登録・ログインが成功すると 「ホーム」に入ります。

画面右下の「+」をタップし、次に「カメラ」を 選択してください。

もう一度「カメラ」を選択してください。













デパイスのWiFiランプが青く点滅しているかど うかをチェックしてください。点滅していない 場合、点滅するまでWiFiキーを約3秒間長押し してください

チェックOK

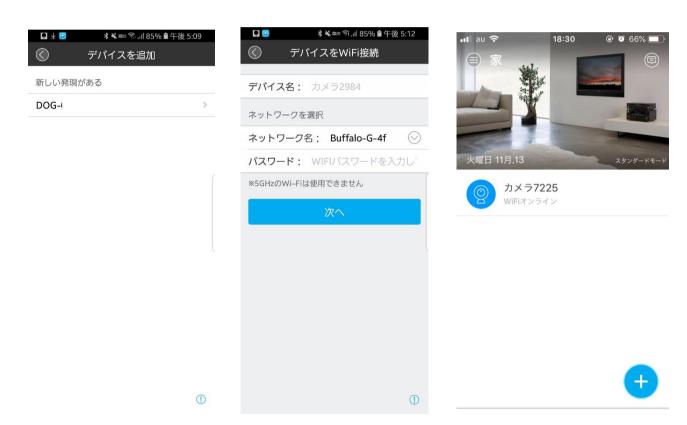
1

カメラをWi-Fiの信号を強く受信できる場所に置き、カメラの電源スイッチをONにしてください。Wi-Fi状態表示ランプが青色に点滅することを確認してください。もしも青色に点滅していたら、「はい」をタップしてWi-Fi接続の設定に入ります。もしも点滅していない場合は、Wi-Fiボタンを3~5秒間押し続け、Wi-Fi状態ランプが青色に点滅するのを待ってから「チェックOK」をタップしてWi-Fi設定ページへ進んでください。

Androidスマートフォン - 機器の追加

Androidスマートフォンでは、システム設定→Wi-Fi で カメラのデバイスID を選択・追加してください (例: DOG-XXXXX) パスワードは11111111です。
DoByに戻って「設定へ」をタップし、Wi-Fi設定の画面で接続するWi-Fi
ルーターを選択し、パスワードを入力して「次へ」をタップしてください。
接続成功です。

Wi-Fi状態表示ランプが1分以上赤点滅を続ける場合は、ルーターの パスワードが間違っているか、Wi-Fiルーターの動作障害の可能性があります。



Wi-Fiの再設定

パスワードが間違っているか、接続ネットワークを変更する場合は、以下の手順でWi-Fiを再設定することができます。 カメラの電源を入れ、Wi-Fi状態表示ランプの点灯を待ちます。 Wi-Fiリセットボタンを3-5秒間押し続け、Wi-Fi状態表示ランプが青点滅したら3-3に戻り、もう一度カメラを追加します。

※5GHz帯のWi-Fiルーターには対応していませんのでご注意ください。

IOSシステム - 機器の追加

iPhone: システムの「設定」 \rightarrow 「Wi-Fi」を開き「DOG-XXXXX」を選択して接続します。パスワードは「11111111」(1 が 8 つ)です。DoByに戻り、「次へ」をタップしてください。





Wi-Fiの再設定

パスワードが間違っているか、接続ネットワークを変更する 場合は、以下の手順でWi-Fiを再設定することができます。 カメラの電源を入れ、Wi-Fi状態表示ランプの点灯を待ちます。 Wi-Fiリセットボタンを3-5秒間押し続け、Wi-Fi状態表示ランプが 青点滅したら3-3に戻り、もう一度カメラを追加します。

※5GHz帯のWi-Fiルーターには対応していませんのでご注意ください。

4. 映像を見る、設定、赤外線人感センサー

4-1. 映像を見る

アプリの「ホーム」画面に表示されている一覧から機器を選択し、

カメラ映像表示ページに入ります。「▶」をタップすると、ライブ映像を見ることができます。







カメラ: 現在のライブ映像画面をキャプチャし、機器の画像アルバムに保存します。



音声: タップすると、カメラ内蔵マイクの音声を聞くことができます。



(本機ではサポートしていない機能です)



フルスクリーン: タップすると映像を画面全体に拡大表示します。



セキュリティ機能:「動き検知」機能を有効にしたのち、カメラの映像に動きを検知したとき、静止画像をキャプチャして、携帯機器へ通知をおこないます。 メニュー内で、動き検知 (ON/OFF) 、センサー感度 (赤外線人感センサーの感度を必要に応じて高/中/低に設定できますが、現行バージョンではサポートされていません) インターバルアラーム (アラームの時間間隔) 、アラーム警報時間 (曜日・時間帯)を設定できます。



録画再生: マイクロSDカードに保存された映像を再生します。



シェア: Dobyアカウントを登録済みの親類や友人に、映像を共有することができます。 (同時に複数人が映像を見ることはできません。一度に映像を見ることができるのは一人だけです。)

4-2. 設定



・デバイス名: 機器に任意の名前をつけることができます。

・WiFi設定: Wi-Fiの接続設定をやりなおすことができます。

・デバイス情報:機器の状態の情報を見ることができます。

・自動録画:「動態検知」または「録画しない」を選択します。

※本製品は、常時録画の機能はありません。

・MicroSDカード:機器のSDカードの状態を表示します。

・映像の向き:「デフォルト(正面)」または「逆向き(上下回転180°)」を選択します。

・デバイスタイムゾーン: 必要に応じてタイムゾーンを変更することが できます。

※マイクロSDカードに録画する場合

新規でマイクロSDを挿入後 マイクロSDカードのフォーマットを必ず行い

録画されているか確認してください

SDカードの耐久性が原因で短期間のうちに録画が停止する時があります

定期的に録画の確認をしてください

またカードの抜き差しを場合や設定変更などは

本体の再起動をお勧めします本体の再起動をお勧めします

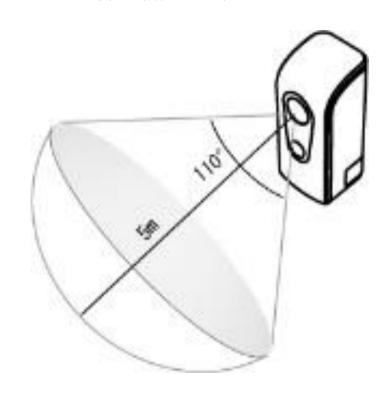
※本製品にマイクロSDを挿入してフォーマットすると独自の形式でフォーマットし録画を開始します マイクロSDを取り外しパソコンなどに認識させても再生はできません スマートフォンのアプリから再生してください

4-3. 赤外線人感センサー

赤外線人感センサー

機器からおよそ5m以内に動くものを検知した場合、動き検知警報がスマートフォンアプリに通知されます。 一回の警報に対し、約30秒の映像が録画され、静止画像が送られます (機器のWi-Fiへの接続の有無にかかわらず、映像は録画されます)。

ご注意: ロック画面へのアプリの通知を許可するようにしてください。 設定方法はスマートフォンによって異なる場合があります



本機に搭載されている人感センサーは、赤外線 (PIR) センサーです。周囲の温度変化 (周囲温度に対し約4度以上の差・移動速度毎秒1m) を感知して動作する仕組です (極端に速いスピードや静止した場合は、検知エリア内でも反応しない場合があります)。 感知エリア内には数十本で構成された感知軸があり、熱 (赤外線) を発生する物体 (人や動物) が 感知軸を横切ることでセンサーが動作します。

人感センサーが正しく感知しない例

- ・動物(犬や猫)によって動作する場合があります。
- ・人がゆっくり動く場合には感知しにくく、全く動かない場合には感知しません